

AVINO

ミニディスクレコーダー

DM-VH7

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返しお読みください。本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

本説明書の他に、取扱説明書・別冊「安全上のご注意」が付属されています。お客様の安全のため、必ず別冊の内容もお読みの上ご使用ください。

設置の際は「設置のしかた」を必ずお読みのうえ正しく設置してください。

→ 6



株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室(東京) 電話 (03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
(大阪) 電話 (06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

KENWOOD

B60-4260-00 00 (CH) (J) (MC) 9902

本機の特徴

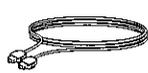
本機は、ミニディスクフォーマットのオーディオ機器です。ミニディスク(MD)は、光および光磁気の技術を採用して、ディスクに録音できる機能を持っています。操作性についてはコンパクトディスク(CD)と同等になっています。また、光学式非接触方式なので、外部要因で録音記録が劣化するようなことがなく、再生のときもミニディスクに傷がつくこともありません。

- デジタルレックボリューム搭載** 従来、アナログ録音の時しかできなかった録音レベル調整を、デジタル録音時にも録音レベル調整できます。
- フリーレイアウト** 従来の横置きに加え、縦置きにも対応しています。より自由なセッティングが可能になりました。
- タイトルインプット、タイトルサーチ機能** ミニディスクに録音したとき、曲のタイトルを登録、記録できます。また、聴きたい曲のタイトルを確認しながら探せるタイトルサーチ機能を搭載しています。
- 多彩な編集機能** 通常の編集(MOVE、DIVIDE、COMBINE、ERASE)に加え、一度に曲順をまとめてかえることができるQUICK MOVE機能や、任意の曲を簡単にERASEする事ができるQUICK ERASE機能など、多彩な編集機能を搭載しています。
- 簡単なCD録音 (O.T.E.)** CDレーザー(RD-VH7)と組み合わせてご使用のとき、お好みの曲をCDからワンタッチで録音する事ができます。
(O.T.E.:One Touch Edit)
- 簡単操作、ワンタッチ・オーバーション** 電源がオフ(スタンバイ時)でも、パネルの再生キーを押すだけで簡単に再生する事ができます。
- サンプリング・レート・コンバーター搭載** 本機には、各種デジタルソース(32KHz、44.1KHz、48KHz)に対応した、サンプリング・レート・コンバーターを搭載しています。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

オーディオコード(2本) システムコントロールコード(1本) 光ファイバーケーブル(1本) 六角レンチ(1個)



リモートコントロールユニット(1個) リモコン用単3乾電池(2本) 取り換え用前脚(2個) スペーサー(1個)



目次

△ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

- 知っておきましょう 4
- 設置のしかた 6
 - 置きかたを変更する 6
 - 付属の脚と交換する 7
- △ 接続のしかた 8
- 各部のなまえと働き 10
- リモコンの使いかた 12
- ミニディスクMDを聴く 13
 - 1曲目から順に聴く 13
 - 聴きたい曲を選ぶ 14
 - 順不同で聴く (RANDOM再生) 14
 - 聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH) 16
- プログラムのしかた 17
 - 曲順を自由にプログラムする 17
 - 繰り返し聴く (REPEAT) 19
- システム録音のしかた 20
 - CDの1曲録音 (O.T.E.) 20
 - CDの全曲録音 (O.T.E.) 20
 - CDとのシンクロ録音 21
- 録音のしかた 22
 - 一般的な録音のしかた 22
 - さかのぼって録音 (MEMORY REC) 24
 - REC MODEキーについて 24
- ディスプレイ表示 26
 - TIME DISP.キーについて 26
 - MONITORキーについて 26
 - REC INPUT切り換えについて 26
- 編集機能 27
 - 編集機能のタイプを選ぶ 27
 - 再生中の曲を移動する (MOVE) 28
 - 曲順をまとめてかえる (QUICK MOVE) 30
 - 再生中の曲を分ける (DIVIDE) 32
 - 再生中の曲をつなぐ (COMBINE) 34
 - 曲をまとめて消す (QUICK ERASE) 36
 - 再生中の曲を消す (ERASE) 38
 - タイトル編集のしかた 39
- 故障かな?と思ったら 43
- 定格 46
- 保証とアフターサービス (必ずお読みください) 47

取扱上のご注意

設置場所について

MDレコーダーは、震動に対して敏感な機器です。できるだけ震動のない場所に設置してください。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

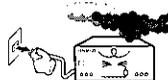
異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



メモリーバックアップ

電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約1日間です。長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。

録音、編集後には、録音、編集の情報をミニディスクに記録するために、必ずミニディスクを取り出ししてください。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記をお願いいたします。

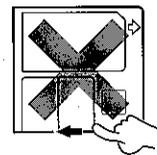
社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F
電話 (03) 5353-0336 (代表)
FAX. (03) 5353-0337

ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。

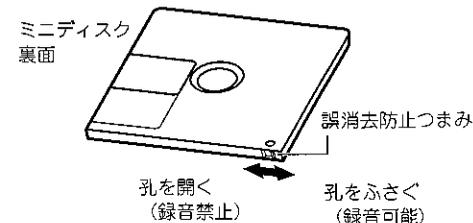
従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについてホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ミニディスクを入れないで"on/standby"^{オン スタンバイ}キーをオンにします。
●ミニディスクがないことを確かめます。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. "on/standby"キーをオフ(standby)にします。



メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶぎします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

本機は、工場出荷時に取り付けられている前脚を、お好みに合わせて付属の脚に取り換えることができます。また、RD-VH7(別売)を横向きで積み重ねて設置する場合は、付属の積み重ね用スペーサーを使って設置してください。

付属品をお確かめください

取り換え用前脚	2
積み重ね用スペーサー	1
六角レンチ	1

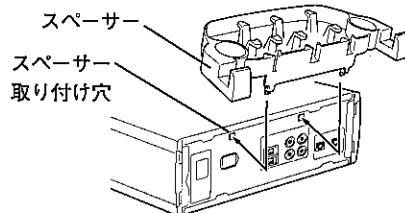
- この作業の前に、ミニディスクを取り出し、電源コードを抜いてください。
- 取り換えることができるのは前脚のみです。
- 脚の付け換え作業時は、必ず取り外したネジを使用してください。(別のネジを使うと火災や故障の原因となることがあります。)
- 設置後、あやまって本機を倒した場合、ミニディスクが挿入された状態のときは、ミニディスクに傷をつける恐れがあります。

置きかたを変更する

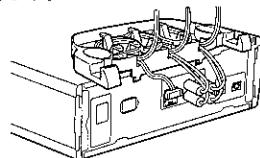
積み重ねて設置する (RD-VH7 (別売) を積み重ねる場合)

付属の積み重ね用スペーサーを使って設置します。

- ① 本機の背面の取り付け穴にスペーサーの爪を合わせて差し込みます。
注意 差し込む時、スペーサーを図のようにやや傾けて(20°程度)取り付け穴に合わせて差し込んでください。



- ② コードをスペーサーに巻き付けて整理する。図のようにスペーサーの溝にオーディオコード、システムコントロールコードを巻き付けて整理することができます。

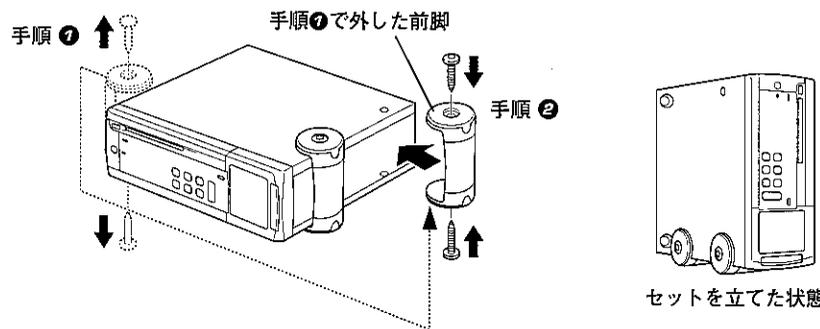


- ③ RD-VH7の脚をスペーサーの脚受けの凹みに合わせて重ねます。

縦置きにして設置する

下記に従って脚の取り付け位置を変更します。

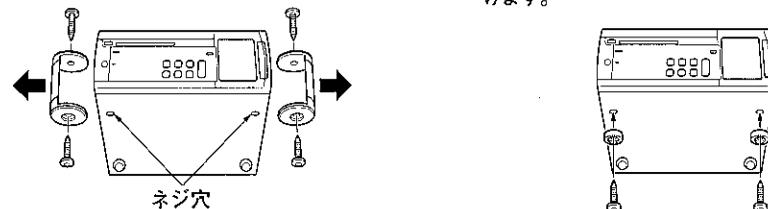
- ① 正面に向かって左側の前脚のネジ2本を六角レンチを使って取り外します。
- ② 外した前脚を右側面の後方にあるネジ穴に合わせて手順①で取り外したネジを使って取り付けます。



付属の脚と交換する

お好みにより付属の前脚と交換することができます。

- ① 前脚のネジ2本を六角レンチを使って取り外します。
- ② 付属の取り換え用前脚を取り付ける。このとき手順①で取り外したネジを使って取り付けます。



表示部のコントラストの調整について (本体のみ)

本体の表示部のコントラストを変える事ができます。

- モード
- ① modeキーを押す。
 - ② ◀▶キーを押して"CONTRAST SET?"を選び、enterキーを押す。
 - ③ ◀▶キーを押してコントラストの調整をし、enterキーを押す。

● modeキーを2秒以上押しすと、初期値に戻ります。

表示方向の切り換えについて (本体のみ)

本体の表示部は初期設定では縦置き、横置きに自動的に反応して表示方向を切り換えます(AUTO)が、手動で任意の方向に切り換える(MANUAL)事もできます。

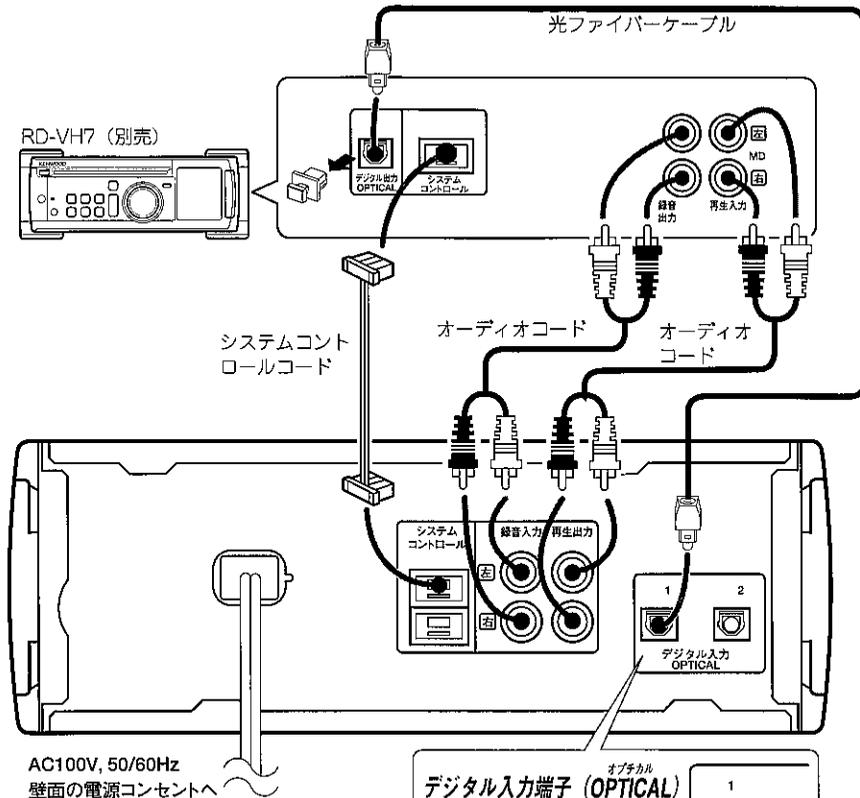
手動での切り換えかた

- モード
- ① modeキーを押す
 - ② ◀▶キーを押して"WINDOW SET?"を選び、enterキーを押す
 - ③ ◀▶キーを押して"MANUAL"を選び、enterキーを押す
 - ④ ◀▶キーを押して任意の方向に切り換え、enterキーを押す

下図のように接続してください。
 関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
 設置の際は、壁から10cm以上離してください。

注意 接続が完了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

マイコンの誤動作について
 正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。



デジタル入力端子 (OPTICAL)
 デジタル入力端子を使うときは、保護キャップをはずしてください。
 キャップをはずします。

- CDの録音など、システム動作を確実に働かせる場合は、デジタル入力の「OPTICAL 1」に CDレシーバー (RD-VH7) を接続してください。 → 20 → 21
- 「OPTICAL 2」は、市販のデジタル機器 (BSチューナー、DATなど) が接続できます。 → 22 → 26

● 保護キャップの紛失にご注意下さい。

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

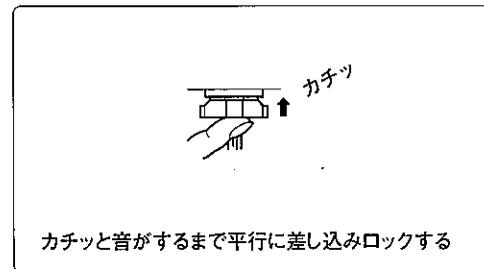
光ファイバークーブルの接続について

CDレシーバー (RD-VH7) との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

- 光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバークーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。

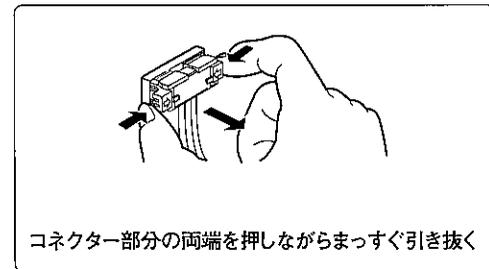
システムコントロールコードの接続

コネクターを差し込む



カチッと音がするまで平行に差し込みロックする

コネクターを抜く



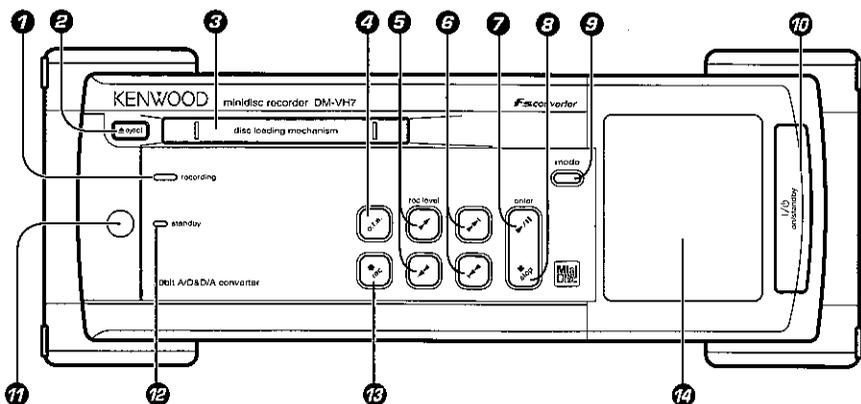
コネクター部分の両端を押しながまますぐ引き抜く

システム動作について

イージーオペレーションについて
 本機が、CDレシーバー (RD-VH7) とシステムコントロールコードで接続されているとき、RD-VH7 付属のリモコンで基本操作ができます。また、RD-VH7 の入力切り換えに対応した動作をするイージーオペレーション (双方向の操作) が可能です。詳しくは、RD-VH7 の取扱説明書をお読みください。

タイマー録音/再生について
 本機が、CDレシーバー (RD-VH7) とシステムコントロールコードで接続されているとき、タイマー再生や放送のタイマー録音が可能です。詳しくは、本機の取扱説明書と、RD-VH7 の取扱説明書を合わせてお読みください。
 本機: "一般的な録音のしかた" 手順 ① ~ ④ のみ操作。

表示部/本体部

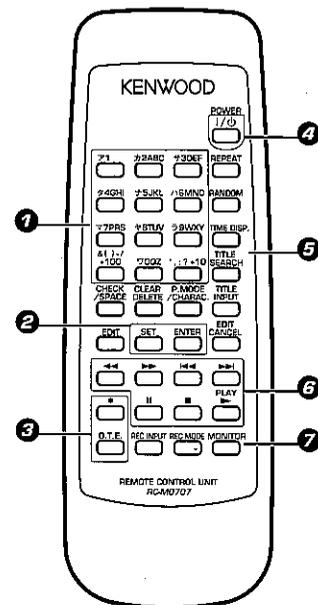


- ① recordingインジケータ
② イジェクト (▲ eject) キー/ディスクインジケータ
③ ミニディスク挿入口
④ ワンタッチエディット (o.t.e.) キー
⑤ 早送り、早戻し (◀▶) /rec level キー
⑥ スキップ (◀▶) キー
⑦ 再生、一時停止 (▶/||) /enterキー
⑧ 停止 (■) キー
⑨ modeキー
⑩ "on/standby" (I/O) キー
⑪ リモコン受光部
⑫ standbyインジケータ
⑬ 録音 (● rec) キー
⑭ 表示部

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といえます。このとき、リモコン操作によっても電源のオンができます。

リモコン部



型名:RC-M0707
赤外線方式

- ① 数字キー
② 編集操作キー
③ 録音操作キー
- ④ on/standby (POWER I/O) キー
⑤ 表示/プログラム操作キー
- ⑥ 基本操作キー
⑦ 応用操作キー

④ on/standby (POWER I/O) キー
: 電源をオン/オフ(スタンバイ)します。

⑤ 表示/プログラム操作キー

- REPEATキー
: 繰り返し聴くときに押します。
- RANDOMキー
: ランダム再生のときに使います。
- TIME DISP. キー
: 時間表示モードを切り換えます。
- TITLE SEARCHキー
: タイトルサーチモードの切り換えに使います。
- CHECK/SPACEキー
: プログラム内容を確認します。タイトル入力ときは、1文字ぶんの空白を挿入します。
- CLEAR/DELETEキー
: プログラムの内容を削除します。タイトル入力ときは、文字を削除します。
- P.MODE/CHARAC.キー
: プログラム再生のときに使います。タイトル入力ときは、文字グループの選択に使います。
- TITLE INPUTキー
: タイトル入力モードの切り換えに使います。
- EDITキー
: 編集モードの切り換えに使います。
- EDIT CANCELキー
: 編集の取消しに使います。

① 数字キー
: 希望の曲を指定します。
: タイトル入力とき、文字や記号の選択に使います。

② 編集操作キー

- SETキー
: 編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使います。
- ENTERキー
: 編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使います。

③ 録音操作キー

- : 録音キー
- ワンタッチエディット O.T.E. キー
: CDを、ワンタッチで録音したいときに使います。

⑥ 基本操作キー

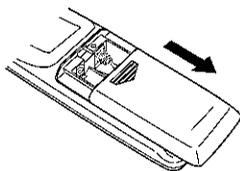
- ◀▶: 早送り、早戻しキー
編集のときは、カーソルの移動や選んだ曲の確認ができます。
- ◀▶▶▶: スキップキー
編集のときは、トラックNo.やタイトル、文字の選択などに使います。
- ||: 一時停止キー ■: 停止キー
- ▶▶▶▶: 再生キー

⑦ 応用操作キー

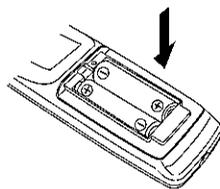
- REC INPUTキー
: 録音の入力ソースを切り換えます。
- REC MODEキー
: 各種録音設定値調整モードのオン/オフをします。
- MONITORキー
: 入力ソースの音が聴けます。

電池の入れかた

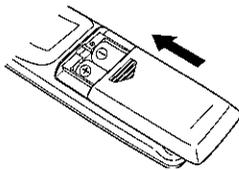
1 カバーを開ける



2 電池を入れる



3 カバーを閉める

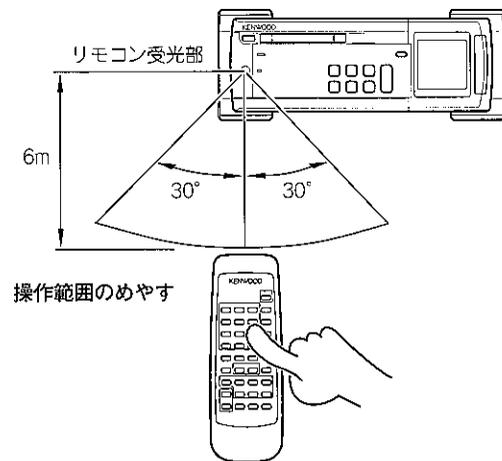


- 単3乾電池(R6/SUM-3)2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの^{オン} ^{スタンバイ} Don/standby (POWER I / ) キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



操作範囲のめやす

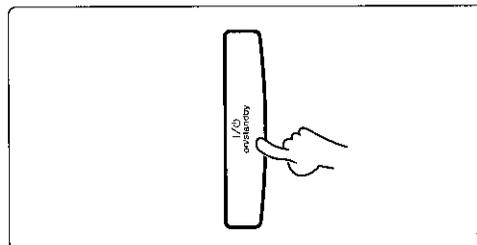


1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、全部新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

ミニディスクを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。

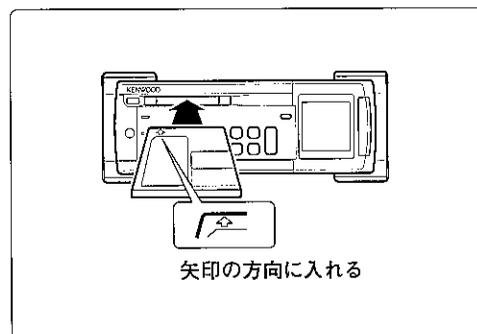
1 曲目から順に聴く

1 電源を入れる



ミニディスクが入っていないとき

2 ミニディスクを入れる

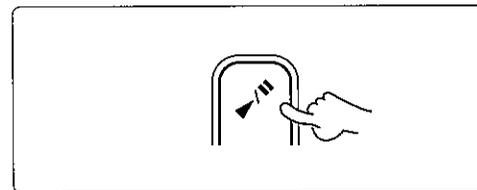


矢印の方向に入れる

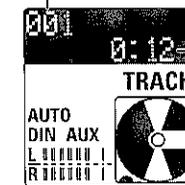
- ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。
- ミニディスクが挿入されるとディスクインジケータが点灯します。
- "READING"が表示され、ミニディスクの内容を調べます。
- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。



3 再生を始める



再生中のトラック番号



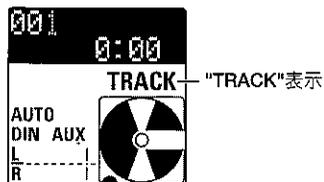
再生中の曲の経過時間



聴きたい曲を選ぶ

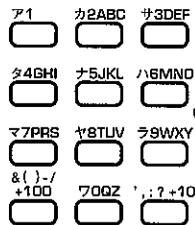
1 ^{トラック}"TRACK"モードにする

停止状態で操作する



"TRACK"表示

2 聴きたい曲番号を選ぶ



数字キーを押す順序は...

23曲目: **+10** **+10** **3** の順に押す

40曲目: **+10** **+10** **+10** **+10** **0** の順に押す

ランダム 順不同で聴く (RANDOM再生)

毎回曲がランダム (無作為) に選択されるので、長時間でも飽きることなく楽しめます。

RANDOM



- 解除するには、もう一度RANDOMキーを押します。

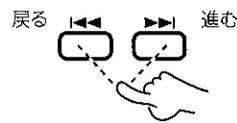
再生の途中で別の曲を選ぶには

- ▶▶キーを押します。

モノラル録音されたミニディスクについて

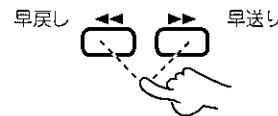
本機は、モノラルモードで録音されたミニディスクも再生できます。モノラルモードの場合、同じ録音時間内容がステレオモード時の半分のデータ量となるため、再生時間 (録音時間) はステレオモード時の2倍になります。

曲を飛び越すには (スキップ)



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く◀◀キーを押します。

早送り・早戻しするには (サーチ)



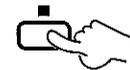
- キーから手を離れたところから、再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音が出ません。
- プログラム再生時と、RANDOM再生時は、早戻しをして曲の初めまでくると、その曲を再生します。 → [14] → [17]

一時停止するには



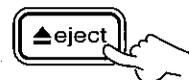
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止めるには



ミニディスクを取り出すとき

本体のみ



EJECT

MINI DISC

ミニディスク排出

準備しましょう ● "TRACK"モードにする。

P.MODE
/CHARAC.



聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)

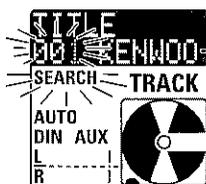
タイトル サーチ

1 TITLE SEARCHキーを押す

TITLE
SEARCH



中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します

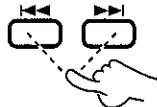


文字が左へ流れます

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"....."が表示されます。

2 聴きたい曲名 (タイトル) を選ぶ

トラック番号が
戻る



トラック番号が
進む



再生される曲 タイトル

- 数字キーでも選べます。

3 再生を始める

ENTER



文字が左へ流れます

プログラムのしかた

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

準備しましょう ● 停止状態にする。



曲順を自由にプログラムする

1 "PGM"モードにする

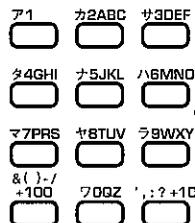
P.MODE
/CHARAC.



"PGM"表示

2 聴きたい順に曲番号を選ぶ

① 聴きたい曲番号を、順に選ぶ



② 確定する

P.MODE
/CHARAC.



③ 手順①と②を繰り返す

数字キーを押す順序は...

トラック番号12を選ぶとき: [+10] [2] の順に押す。
プログラム順位



選曲

- 32曲まで選べます。それ以上は選べません。
- 間違えたときはCLEAR/DELETEキーを押してから、選び直してください。
- プログラム時間の合計が256分以上になると、表示が"---:---"になります。

- トラック番号表示の点滅中に、プレイモード P.MODE/CHARAC. キーを押さないと入力中止されます。

3 再生する

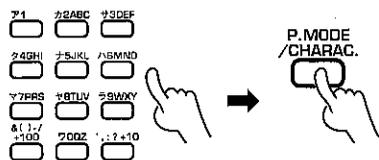
PLAY



- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

曲を追加するには

停止状態で操作する



- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- 表示点滅中にP.MODE/CHARAC.キーを押さないと入力中止されます。

曲順を確かめるには



プログラム順位



トラックナンバー

- 押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

プログラムした曲を取り消すには (停止状態で操作する)

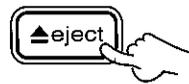
後ろから順に消す



全部消す



または



リモコン

本体

取り消した曲のプログラム番号を表示



(P-14が取り消されたとき)

準備しましょう ● 停止状態にする。



リピート

繰り返し聴く (REPEAT)

1曲またはディスク全体を繰り返すには

① "TRACK"モードにする



② "ONE REP."または"ALL REP."を表示させる



③ 再生する



リピート
REPEATキーを押すたびに切り換わります。

- ONE REP. : 1曲のみ繰り返しします
- ALL REP. : 全曲繰り返しします
- OFF

- RANDOM再生で繰り返し聞きたいときは、手順②のあとRANDOMキーを押してください。このとき、"ONE REP."、"ALL REP."にかかわらず、"REP."と表示されます。

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを押して"OFF"を選びます。

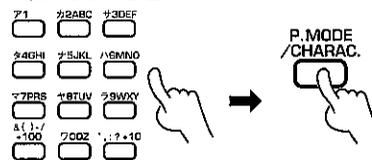
選んだ曲だけを繰り返すには

① 繰り返す曲を選ぶ

プログラム
① "PGM"モードにする



② 好きな曲を選ぶ

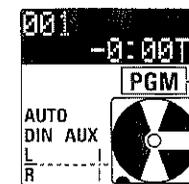


③ 手順②を繰り返す

④ "REP."を表示させる



⑤ 再生する



"PGM"表示

- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

リピート
REPEATキーを押すたびに切り換わります。

- REP. : 選んだ曲すべてを繰り返します
- OFF

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーを押して"OFF"を選びます。

本機とCDレシーバー(RD-VH7)を、システムコントロールコードで接続すると、CD再生のときに気に入った曲をその場で選び、録音することができます。これをO.T.E. (One Touch Edit) 機能といいます。また、CDとのシンクロ録音もできます。

準備しましょう

- CDレシーバーのデジタル出力を本機のデジタル入力 1 に接続する。 - 8
- CDレシーバーの入力切り換えをCDにする。 - 5
- 記録可能なミニディスクを入れる。 - 5

ミニディスク挿入時の表示について



記録可能なミニディスク 記録禁止されているミニディスク 再生専用ミニディスク

ワンタッチエディット

CDの1曲録音 (O.T.E.)

- 1 録音したい曲を再生する
- 2 O.T.E.キーを押す



- CD再生状態でO.T.E.キーを押すと、再生中の曲の初めから再生し、1曲のみ録音します。
- その曲の録音が終了すると、MDレコーダーが停止します。CDレシーバーは一時停止します。
- O.T.E.録音では、録音入力DIN CD(デジタル)、録音レベル0dBが自動的に選ばれます。
- O.T.E.録音中は、録音入力の切り換え、録音レベルの調節はできません。

録音を途中で止めるとき、停止(■)キーを押します。

CDの全曲録音 (O.T.E.)

- 1 CDを停止する
- 2 O.T.E.キーを押す



- CD停止状態で O.T.E.キーを押すと、CD全曲を録音します。
- 全曲の録音が終了すると、MDレコーダーとCDレシーバーは停止します。
- O.T.E.録音では、録音入力DIN CD(デジタル)、録音レベル0dBが自動的に選ばれます。
- O.T.E.録音中は、録音入力の切り換え、録音レベルの調節はできません。

録音を途中で止めるとき、停止(■)キーを押します。

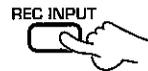
本機とCDレシーバー(RD-VH7)を、システムコントロールコードで接続すると、次の手順で録音(MD)と再生(CD)が同時にスタートするので、音切れの心配がありません。

準備しましょう

- CDレシーバーのデジタル出力を本機のデジタル入力 1 に接続する。 - 8
- CDレシーバーの入力切り換えをCDにする。 - 5
- 記録可能なミニディスクを入れる。 - 5

CDとのシンクロ録音

- 1 ^{レック インプット} REC INPUT (録音入力) を切り換える



押すたびに切り換わります。 - 26

- ANALOG
- DIN CD
- MONO

- デジタル録音する時は"ANALOG"、アナログ録音する時は"ANALOG"に切り換えます。

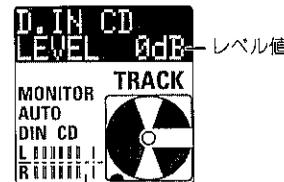
- 2 録音レベルを調節する

- 1 録音するCDを再生する
- 2 ^{モニター} MONITORキーを押す
- 3 録音レベルを調節する



レベルが低くなる レベルが高くなる

- 録音中も、録音レベルを調節できます。
- モニターを解除するにはもう一度MONITORキーを押します。



ここがときどき点灯するように調節してください

- レベルメーターの縦のバーのひとつ前が、ときどき点灯するように調節します。
- アナログ録音時は-12dB、デジタル録音時は0dBが初期状態となっています。
- 本体のrec levelキーでも、操作できます。

- 3 CDを停止する

- 4 録音一時停止にする



- 録音(●)キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

- 5 CDを再生する

- CDの再生を始めると、自動的にMDの録音を開始します。

オーディオコードで接続されている入力端子には、アナログ信号が入ってきます。本機では、アナログ端子に入った信号を、デジタル信号に置き換えて録音します。(以後、アナログ録音と呼びます。)

本機がCDプレーヤーなどと光ファイバーケーブルで接続されている場合、デジタル入力端子より入力された信号をデジタルの状態に録音します。(以後、デジタル録音と呼びます。)高音質の録音をお楽しみください。

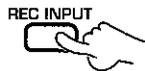
準備しましょう ●記録可能なミニディスクを入れる。

- 録音可能時間を確かめる。 - [5] [26]

一般的な録音のしかた

1 アンプの入力切り換えを録音したいソースにする

2 REC INPUT (録音入力) を切り換える



押すたびに切り換わります。 - [26]

ANALOG
DIGITAL 1 (DIN CD)
DIGITAL 2 (DIN AUX)
MONO

- デジタル録音するときは"DIGITAL1"か"2"、アナログ録音するときは"ANALOG"か"MONO"に切り換えます。
- システム接続されている場合は、カッコ内の表示になります。

3 録音レベルを調節する

- 録音したいソースを再生する
(放送を録音するとき、この操作は不要です)

- MONITORキーを押す



- 録音レベルを調節する

レベルが
低くなる ← → レベルが
高くなる



- 録音したいソースを停止する
(放送を録音するとき、この操作は不要です)

4 録音一時停止にする



- 録音中も、録音レベルを調節できます。
- モニターを解除するにはもう一度MONITORキーを押します。

RD-VH7とシステム接続されているときの表示例



ここがときどき点灯するように調節してください

- レベルメーターの縦のバーのひとつ前が、ときどき点灯するように調節します。
- アナログ録音時は-12dB、デジタル録音時は0dBが初期状態となっています。
- 本体のrec levelキーでも、操作できます。

- 録音(●)キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

5 録音を始める



- 録音中にEDITキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。

- II、▶/IIキーを押しても録音が始められます。

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている。
→不要な曲を消す。 - [36]
- "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている。
→閉める。 - [5]
- "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである。
→録音用ミニディスクを入れる。

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、デジタル録音はできません。

- "UNLOCK" : サンプル周波数が32kHz、44.1kHz、48kHzでない。
→アナログ録音にする。 - [21] - [22]
- 光ファイバーケーブルが外れているか、接続が不完全である。(接続されていない)
→光ファイバーケーブルを正しく接続する。

"SCMS" : SCMSによってデジタル録音禁止になっている。
→アナログ録音にする。 - [21] - [22]

"NOT AUDIO" : 入力されているデジタル信号が、オーディオ信号でない。

6 録音したいソースを再生する

(放送を録音するとき、この操作は不要です)

7 録音終了後、ミニディスクを取り出す



本体のみ



情報を書き込み中 ミニディスク排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

録音を一時停止するには



- もう一度押すと、その時点から録音を再開します。
- ◀◀キー一押しと、約6秒さかのぼって録音を再開します。
- 録音(●)キーを押しても録音が始められます。

録音を途中でやめるには



CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"曲をまとめて消す(QUICK ERASE)または、再生中の曲を消す(ERASE)"を参照して削除してください。 - [36] - [38]

さかのぼって録音 (MEMORY REC)

キーを押した約6秒前の音声から録音をします。ラジオ放送を録音する時に便利です。

録音一時停止中に押す。



6秒前の音声から録音を開始します。

- 録音一時停止の状態から6秒以上経たないと、6秒前からの録音はできません。

レック モード REC MODEキーについて

録音関係の設定調整モード表示を選択し、各種設定値の調整ができます。

微調整の設定のしかた

- ① "REC MODE"をオンにする

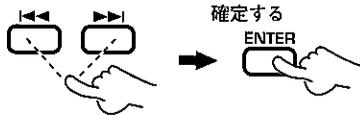


- ② 設定調整モードを選ぶ



確定する

- ③ 設定する



確定する

◀▶キーを押すたびに切り換わります。

- ① TRACK MARK SET ?
:トラック番号のつけかたの設定
- ② AUTO LEVEL SET ?
: AUTO TNOの無音検出レベルの設定

- 手順②で選んだ"設定調整モード"の設定内容を手順③で変更します。
- 終了したいときは、REC MODEキーを押します。

トラック マーク "TRACK MARK"表示を選択の場合

"TRACK MARK"表示のとき、ENTERキーを操作すると録音時、トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを設定する表示になります。このとき、◀▶キーで設定し、ENTERキーで確定します。初期設定は"AUTO"です。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

AUTO:

録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。

また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除できます。このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。

CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとに、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。無音の検出はしません。CDのマニュアルサーチ中にトラック番号が繰り上がった場合、MDでは正しくトラック番号が繰り上がらない場合があります。再生側のCDが停止すると、無音のトラックを作ることがあります。

MANUAL:

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(EDITキーを押す)、または録音後(DIVIDEを操作する-③②)、トラック番号を付けることができます。

ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

オート レベル "AUTO LEVEL"表示を選択の場合

"AUTO LEVEL"表示のとき、ENTERキーを操作すると、オートトラックナンバーの無音検出レベルを設定する初期表示になります。このとき、◀▶キーで無音検出レベルを設定し、ENTERキーで確定します。設定されたレベルが、検出レベルになります。初期設定は"0"となり、+3から-3までのレベルが設定できます。

設定値	-3	-2	-1	*0	+1	+2	+3
AUTO TNO	TNOが	繰り上りに	くくなる	←→	繰り上り	易くなる	

AUTO TNO (Automatic track number): 自動的にトラックナンバーを繰り上げる

サンプリング・レート・コンバーターについて

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

32 kHz : DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

44.1 kHz : DATの標準モード、CD、MD等。

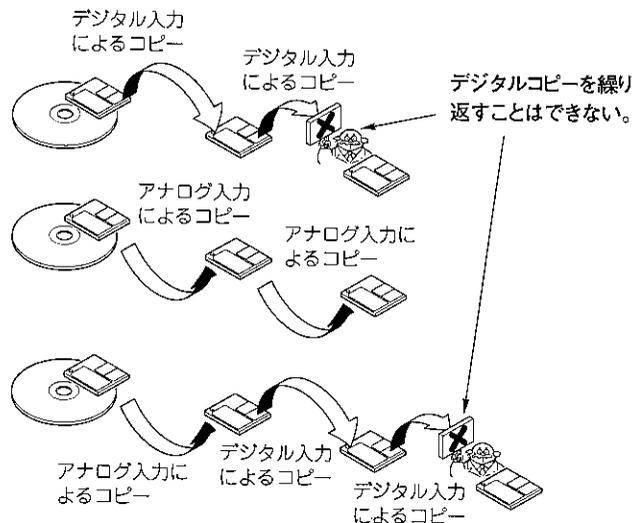
48 kHz : DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。

(DAT: Digital Audio Tapedeck)

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できません。本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているため、32kHz、48kHzのデジタル信号は、MDのサンプリング周波数(44.1kHz)に変換して録音することができます。

シリアル コピー マネージメント システム SCMS (Serial Copy Management System) について

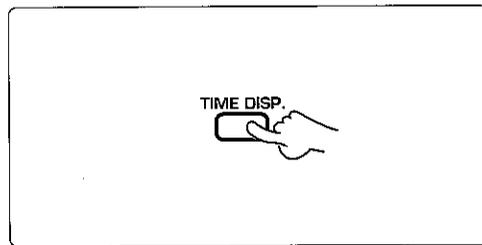
シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一代だけと規定したものです。



タイム ディスプレイ

TIME DISP.キーについて

時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

再生中/停止中

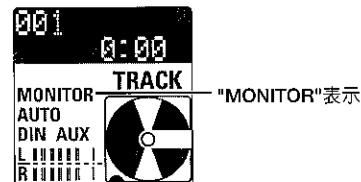
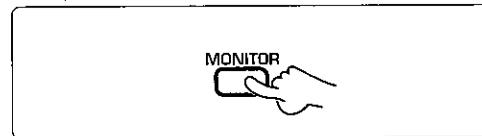
- ① SINGLE (+) : 曲の経過時間
- ② SINGLE (-) : 曲の残り時間
- ③ TOTAL (+) : 曲の総経過時間
- ④ TOTAL (-) : 曲の総残り時間
- ⑤ REMAIN : ディスクの録音可能(残量)時間
- ⑥ TITLE : ディスクタイトル表示(停止時) /
トラックタイトル表示(再生時)

録音中

- ① SINGLE (+) : 録音中の曲の経過時間
- ② TOTAL (+) : 録音時の総経過時間
- ③ REMAIN : ディスクの録音可能(残量)時間

モニター

MONITORキーについて

レック インプット
REC INPUTで選ばれた入力ソース(音)をモニターすることができます。

"MONITOR"表示

- デジタル入力信号のサンプリング周波数が48kHz、44.1kHz、32kHz以外のときは、"UNLOCK"が表示され音は出ません。
- MDの再生を行うと、モニターは解除されます。

レック インプット

REC INPUT切り換えについて

ANALOG

: 録音入力端子に接続されている録音入力をステレオ録音します。チューナーやテープなどの時に選びます。

DIGITAL 1 (DIN CD)

: デジタル入力(OPTICAL)1に接続されている録音入力をデジタル録音します。システム接続されたCDをデジタル録音する時などに選びます。

DIGITAL 2 (DIN AUX)

: デジタル入力(OPTICAL)2に接続されている録音入力をデジタル録音します。外部機器(BSチューナーやDAT)をデジタル録音する時などに選びます。

MONO

: 録音入力端子に接続されている録音入力をモノラル録音します。長時間録音する時などに選びます。

- 録音一時停止状態では、"MONO"から他への切り換え、他から"MONO"への切り換えはできません。

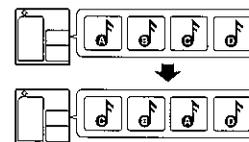
市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。("PGM"と"RANDOM"が表示されているときは、編集できません。)

MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をした時に、情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出して下さい。

編集機能のタイプを選ぶ

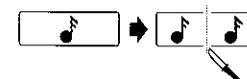
曲順の入れ換え

- 再生中の曲を移動する(MOVE) → 28
- 曲順をまとめてかえる(QUICK MOVE) → 30



曲の分割と結合

- 再生中の曲を分ける(DIVIDE) → 32

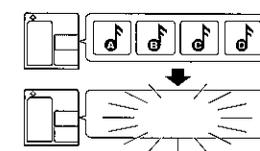
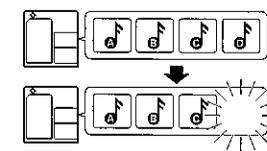


- 再生中の曲をつなぐ(COMBINE) → 34

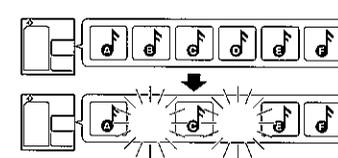


曲の消去

- 再生中の曲を消す(ERASE) → 36
- 全曲消す(ALL ERASE) → 36



- 曲をまとめて消す(QUICK ERASE) → 36



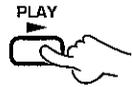
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。

→ 43

移動させたい曲を再生して、目的のトラック番号の位置へ移動します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べかえることができます。

準備しましょう ● 移動する曲を再生する。



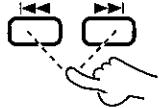
再生中の曲を移動する (MOVE)

1 "MOVE" を選ぶ

① EDITキーを押す



② "MOVE" を選ぶ



③ 確定する



● 再生一時停止中にも編集できます。

◀◀, ▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE
- ② COMBINE
- ③ ERASE
- ④ MOVE

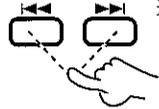
● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



2 移動先を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

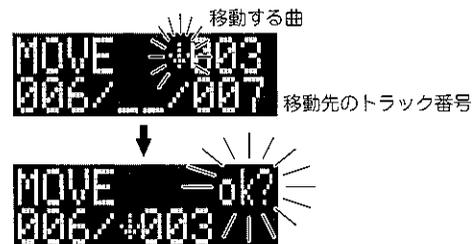
トラック番号が戻る ← → トラック番号が進む



③ 確定する



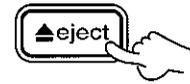
トラックNo.6とNo.7の間に移動する例



3 曲の移動をする



4 ミニディスクを取り出す



本体のみ

実行後の表示

EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

● 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 → [29]



情報を書き込み中 → ミニディスク排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

編集した内容を取り消すとき (EDIT CANCEL)

ミニディスクを取り出す前に、次のキー操作をすると、ディスクを入れたときと同じ状態に戻ることができます。取り消し後、あらためて各編集の操作をしてください。

停止状態で操作する



● ミニディスクを取り出す前に録音をした場合、および "UNTOC ERROR" 表示後の編集は、取り消しができませんのでご注意ください。

並べかえたい順に曲(トラック番号)を選んで、曲順をまとめてかえます。

準備しましょう ● 停止状態にする。



曲順をまとめてかえる (QUICK MOVE)

1 "Q.MOVE"を選ぶ

① EDITキーを押す



② "Q.MOVE"を選ぶ



③ 確定する



◀◀▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① Q.MOVE
- ② Q.ERASE
- ③ CANCEL

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



2 並べかえたい順に曲を選ぶ

① 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号が戻る トラック番号が進む



② 確定する



③ 手順①と②を繰り返す

④ 並べかえたい曲の選択を終了する



選ばれたトラックの数



移動したいトラック番号

- 32曲まで選ぶことができます。
- ◀▶ キーで、選んだ曲順の確認ができます。
- CLEAR/DELETE キーを押すと、最後に選んだ曲(トラック番号)を取消することができます。

3 曲順を並べかえる

① 移動先を選ぶ



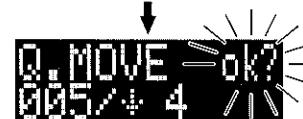
② 確定する



③ 曲順を並べかえる



トラックNo.5とNo.6の間に移動する例



実行後の表示

- EDIT NOW : 編集中
- COMPLETE : 編集完了
- CAN'T EDIT : 編集不可能

●誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

4 ミニディスクを取り出す

本体のみ



情報を書き込み中 ミニディスク排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめてかえるイメージ



並べかえたい順に選んだ曲をトラックNo.4とNo.5の間に移動した例 (手順②)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。

プレビュー機能を使って、分割点を繰り返し聴きながら微調整が出来ます。

再生中の曲を分ける (DIVIDE)

ディバイド

1 分割したい曲を再生する

2 希望の所で EDIT キーを押す

エディット

① EDIT キーを押す



② "DIVIDE" を選ぶ



③ 確定する



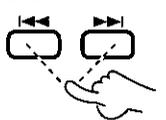
プレビューをしないときは、一度 ENTER キーを押してから手順④へ進みます。

3 プレビューをするとき

① プレビューの実行



② 分割の微調整をする



③ 分割点を確定する



- 再生一時停止中にも編集できます。

◀◀▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- DIVIDE
- COMBINE
- ERASE
- MOVE

- 途中で8秒以上放置すると、編集中は中止されます。

EDIT
▶ DIVIDE

DIVIDE
001 <> 002

DIVIDE + 0
PREVIEW 0s

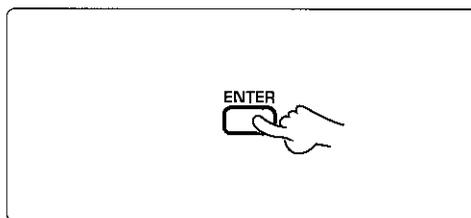
- 分割点から約3秒が繰り返し再生されます。

DIVIDE + 4
PREVIEW 0s

- 分割点の微調整は、EDITキーを押した所を0として、60ms (6/100秒)単位で-31~+31ステップ(約4秒の範囲)で可能です。

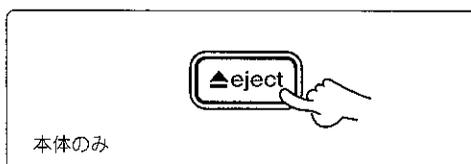
DIVIDE - 6
001 <> 002

4 曲の分割を実行する



手順①~④を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

5 ミニディスクを取り出す



実行後の表示

エディット ナウ
EDIT NOW : 編集中
コンプリート
COMPLETE : 編集完了
キャンセル エディット
CAN'T EDIT : 編集不可能

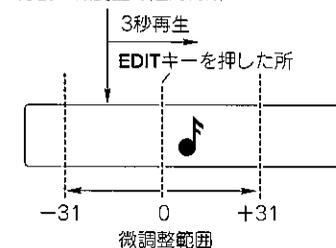
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をする
と編集前の状態に戻ります。 → [29]
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。



ライティング
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

プレビューのイメージ

分割の微調整で選んだ所



トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

コンバイン 再生中の曲をつなぐ (COMBINE)

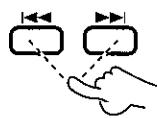
1 つなげたい曲を再生する

2 "COMBINE"を選ぶ

① EDIT キーを押す



② "COMBINE"を選ぶ



③ 確定する



- 再生一時停止中にも編集できます。

- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

◀▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE
- ② COMBINE
- ③ ERASE
- ④ MOVE

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

EDIT
COMBINE

↓ 現在の曲

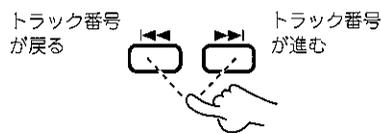
COM. 002+
003 TITLE

↑ 次の曲

再生中の曲と、次の曲をつなぐ場合は、ENTER キーを押してから手順 4へ進みます。

3 他の曲をつなぎたい場合

① 曲(トラック番号)を選ぶ



② 確定する



2曲目と5曲目をつなぐ場合

COM. 002+
005 ABCDEF

COMBINE ok?
002+005

4 曲と曲の結合を実行する

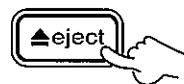


実行後の表示

EDIT NOW : 編集中
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。 - [29]
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。

5 ミニディスクを取り出す



本体のみ



情報を書き込み中 → ミニディスク排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

停止中に、選んだ曲または全曲消去することができます。
消去すると元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

準備しましょう ● 停止状態にする。



クイック イレース

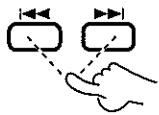
曲をまとめて消す (QUICK ERASE)

1 "Q.ERASE"を選ぶ

① EDITキーを押す



② "Q.ERASE"を選ぶ



③ 確定する



◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- ① Q.MOVE
- ② Q.ERASE
- ③ CANCEL

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

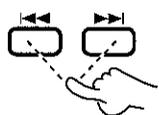
EDIT
▶ Q.ERASE

Q.ERASE ▶
ALL

● 全曲を消去する場合は、"ALL?"の表示中にENTERキーを押してから手順②へ進みます。

2 消したい曲を選ぶ

① 削除したい曲を選ぶ



② 確定する



③ 手順①②を繰り返す

④ 選択を終了する



削除したい曲番を表示させる

Q.ERASE ▶
005 KENWOOD

Q.ERASE ▶
006 ABCDEF

- 32曲まで選ぶことができます。
- ◀▶▶▶ キーで、選んだ曲の確認ができます。
- CLEAR/DELETE キーを押すと、最後に選んだ曲が、消去選択群の中から削除できます。

Q.ERASE ok
12 tracks

削除する曲数

3 消去を実行する



実行後の表示

EDIT NOW : 編集
COMPLETE : 編集完了
CAN'T EDIT : 編集不可能

- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

4 ミニディスクを取り出す



本体のみ



情報を書き込み中 ミニディスク排出

● "WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

再生中にその曲のみ消去することができます。消した直後の曲のトラック番号が調節されます。消去すると元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

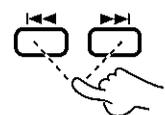
準備しましょう ● 消したい曲を再生する。



再生中の曲を消す (ERASE)

1 "ERASE"を選ぶ

- エディット
- 1 EDITキーを押す
 - 2 "ERASE"を選ぶ
 - 3 確定する



◀▶▶▶ キーを押すたびに切り換わります。

- 1 DIVIDE
- 2 COMBINE
- 3 ERASE
- 4 MOVE

● 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



2 消去を実行する

- 1 消去の確認
- 2 消去を実行する



消去するトラック番号



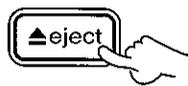
● 再生中の曲が消去されます。(トラックタイトル含む)



情報を書き込み中 ミニディスク排出

ライティング
"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

3 ミニディスクを取り出す



本体のみ

ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

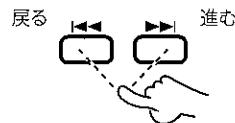
タイトル編集のしかた

1 タイトル入力状態にする

- 1 TITLE INPUTキーを押す



- 2 編集するタイトルを選ぶ



- 3 確定する



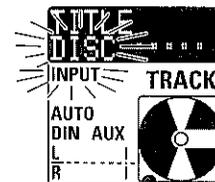
中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

タイトルメモ

よく使うタイトルやお好みのタイトルを登録しておきます。タイトルメモに登録しておくと、タイトル編集が簡単にできます。

タイトルコピー

ミニディスクに記録されているディスクタイトル、トラックタイトルをコピーすることができます。



◀▶▶▶ キーを押すと切り換わります。

- 1 DISC (ディスクタイトル)
- 2 001 (トラックタイトル)
- 3 ALL ERASE (ディスクとトラックタイトルの全消去)
- 4 [1] (タイトルメモ)

ディスクタイトルのとき:

DISCを選びます。



トラックタイトルのとき:

目的のトラックNo.を選びます。(数字キーでも選べます。)



ディスクとトラックタイトルの全消去:



タイトルメモに登録する時:

[1] [2] [3]より選びます。



入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR/DELETE)をご利用ください。

2 タイトルを入力する

◀◀、▶▶キーで文字を選ぶとき

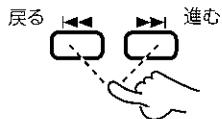
Ⓐ、Ⓘ、Ⓣ いずれかの表示になっているときは◀◀または▶▶キーを押します。

タイトルを入力する場合

① 文字グループを選ぶ



② 文字を選ぶ



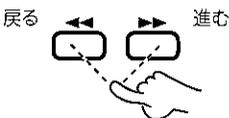
③ 文字を確定する



④ 手順①～③を繰り返す

タイトルを変更、消去する場合

① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる



② 文字を削除する



③ タイトルを入力する場合の①～④を行う

プレイモード キャラクター
P.MODE/CHARAC.キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。 - 42

- ・A～Z とスペース(1文字ぶんの空白)
- ・a～z とスペース
- ・0～9 と記号
- ・アイウエオ...ガギグゲゴ...
- ・タイトルメモ(3種)、タイトルコピー(ディスクタイトル、トラックタイトル)

- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。



カーソルが移動、次の文字の入力待ち

- ◀◀、▶▶キーで、入力場所のカーソルを左右に移動できます。
- チェックCHECK/スペースSPACEキーで、1文字ぶんの空白を入力することができます。

数字キーで文字を選ぶとき

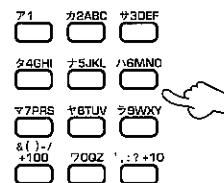
Ⓐ、Ⓘ、Ⓣ いずれかの表示になっていないときは数字キーのいずれかを押します。

タイトルを入力する場合

① 文字グループを選ぶ



② 文字を選ぶ



同じキーを繰り返し押すと文字が変わります。
(例：2を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。)

- 間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押します。

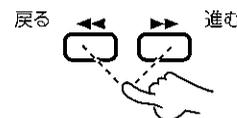
③ 文字を確定する



④ 手順①～③を繰り返す

タイトルを変更、消去する場合

① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる



② 文字を削除する



③ タイトルを入力する場合の①～④を行う

プレイモード キャラクター
P.MODE/CHARAC.キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。 - 42

Ⓐ：A～z、記号とタイトルメモ(3種)

Ⓘ：0～9と記号

Ⓣ：アイウエオ...ガギグゲゴ...と記号



入力される場所

- ◀◀、▶▶キーで、入力場所のカーソルを左右に移動できます。
- チェックCHECK/スペースSPACEキーで、1文字ぶんの空白を入力することができます。



カーソルが移動、次の文字の入力待ち

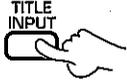
- 他の数字キーや▶▶キー、P.MODE/CHARAC.キーなどを押したときも確定されます。

3 タイトルの編集を実行する

① タイトルを書き込む



② 終了する

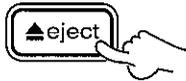


DISC
STORE

DISC
KENWO

タイトルがスクロールする

4 ミニディスクを取り出す



本体のみ

WRITING → EJECT → NO DISC

情報を書き込み中 ミニディスクを排出

"WRITING"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの◀▶キーで文字を選ぶとき

英字の大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ スペース
英字の小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz スペース
数字、記号グループ	0123456789 スペース! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ` ? @ スペース _
カタカナグループ	アイエオカキケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロ ワラン スペースーアイエオツャユョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペ ポ スペースー
タイトルメモ/タイトルコピーグループ	[1] [2] [3] [DISC] ([001]...)

リモコンの数字キーで文字を選ぶとき

キー	グループ (A3)	(12)	(77)
ア1	スペース[1] [2] [3]	1	アイエオアイエオ
カ2ABC	ABCabc または abcABC	2	カキケコ
サ3DEF	DEFdef または defDEF	3	サシスセソ
タ4GHI	GHIghi または ghiGHI	4	タチツテト
ナ5JKL	JKLjkl または jklJKL	5	ナニヌネノ
ハ6MNO	MNOmno または mnoMNO	6	ハヒフヘホ
マ7PRS	PRSprs または prsPRS	7	マミムメモ
ヤ8TUV	TUVtuv または tuvTUV	8	ヤユヨヤユヨ
ラ9WXY	WXYwxy または wxyWXY	9	ラリルレロ
ワ0QZ	QZqz または qzQZ	0	ワラン
' , : ? + 10	' , : ? ! ; . " _ ` \$ スペース		
& () - / + 100	& () - / + * = < > # % @		

「[」]」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。

●タイトルコピーは数字キーでは選べません。

故障かな?と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源コードのプラグをコンセントから抜き、イジェクト(▲ eject)キーを押しながら、差し込み直す。

●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

MD規格上の症状

症状	原因
最大録音可能時間に達していなくても、"DISC FULL"が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。) ●曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係無く"DISC FULL"が表示されます。 <p>このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。</p>
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の録音時間と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れが発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> ●新品の録音用ミニディスク(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。 ●編集を繰り返したミニディスクやトラック番号数の多いミニディスクを入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	●モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

ディスプレイ表示とその対応

ディスプレイ表示	意味	処置
アンロック UNLOCK	<ul style="list-style-type: none"> ● サンプル周波数が38kHz、44.1kHz、48kHz以外の入力ソースをデジタル録音しようとしている。 ● 光ファイバーケーブルがはずれているか、接続が不完全である。(接続されていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● アナログ録音に切り換える。 → [21] → [22] ● 光ファイバーケーブルを正しく接続する。 → [8] → [9]
SCMS	<ul style="list-style-type: none"> ● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アナログ録音に切り換える。 → [21] → [22]
ディスクフル DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音可能なエリアがない。 ● 256曲目を録音しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音用ミニディスクを入れ換える。 ● 1枚のディスクには256曲以上録音できません。
---	<ul style="list-style-type: none"> ● 何も録音されていないミニディスクです。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。
リーディング READING	<ul style="list-style-type: none"> ● ^{トラック}TOC *1 情報を読んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。
ライティング WRITING	<ul style="list-style-type: none"> ● 編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。
ユーロック エラー UTOC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● ^{ユーロック}UTOC *2 の内容が異常である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "QUICK ERASE"の全曲消去"ALL?"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。 → [36]
キャント エディット CAN'T EDIT	<ul style="list-style-type: none"> ● 長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 制限範囲内で編集する。
ok? の点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● "編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ^{エンター}ENTERキーを押すと、編集が実行されます。
プロテクト PROTECTED	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止つまみが開いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止つまみを閉める。 → [5]
プレイ オンリー PLAY ONLY	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生専用ミニディスクである。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音用ミニディスクを入れる。

その他の症状

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● コードの接続が間違っている。 ● ミニディスクが入っていない。 ● 未録音ミニディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "接続のしかた"に従い正しく接続する。 → [8] → [9] ● ミニディスクを入れる。 → [13] ● 録音済ディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ミニディスクの誤消去防止つまみが、開いた状態になっている。 ● SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ● 録音レベルが低い。 ● 再生専用ミニディスクが入っている。 ● 録音可能なエリアがない。 ● REC INPUTキーの設定が実際の入力ソースと合っていない。 ● システムコントロールコードでシステム接続されているとき、アンプの入力切り換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 → [5] ● アナログ録音にする。 → [21] → [22] ● 録音レベルを調節し直す。 → [21] → [22] ● 録音用ミニディスクを入れる。 ● ミニディスクを入れ換える。 ● 実際の入力ソースと合わせる。 → [21] → [22] ● アンプの入力切り換えをMD以外にする。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音レベルの設定をしていない。 ● ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● "録音レベルを調節する"をお読みください。 → [21] → [22] ● ミニディスクを交換する。
雑音大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部の雑音を誘導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気器具、テレビなどから離す。



^{トラック}TOC*1 : 全てのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table Of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。 → [44]

^{ユーロック}UTOC*2 : TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOC (User's Table Of Contents) と呼びます。このUTOCには曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。 → [44]

【規格】

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式	ATRAC(Adaptive Transform Acoustic Coding)
回転数	約400rpm ~ 900rpm (CLV)

【D/Aコンバーター】

D/Aコンバージョン	20ビット
オーバーサンプリング	128 fs (44.1 kHz)

【A/Dコンバーター】

A/D変換方式	$\Delta \Sigma$ 方式
サンプリング周波数	44.1kHz

【デジタルオーディオ性能】

周波数特性(再生時)	8 Hz ~ 20 kHz
SN比(再生時)	95 dB 以上
ダイナミックレンジ(再生時)	90 dB 以上
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下
アナログ入力感度/入力インピーダンス	300 mV / 47 k Ω
アナログ出力レベル/負荷インピーダンス	1.2 V / 3.2 k Ω
デジタル入力	
オプティカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数	AC 100 V 50 / 60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	10 W
最大外形寸法	
(横置き時)	幅 247 mm 高さ 96 mm 奥行 279 mm
(縦置き時)	幅 96 mm 高さ 237 mm 奥行 279 mm
質量(重量)	3.1 kg(正味)

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ()



1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。